



なでしこ



令和5年(2023年)2月8日

No. 27

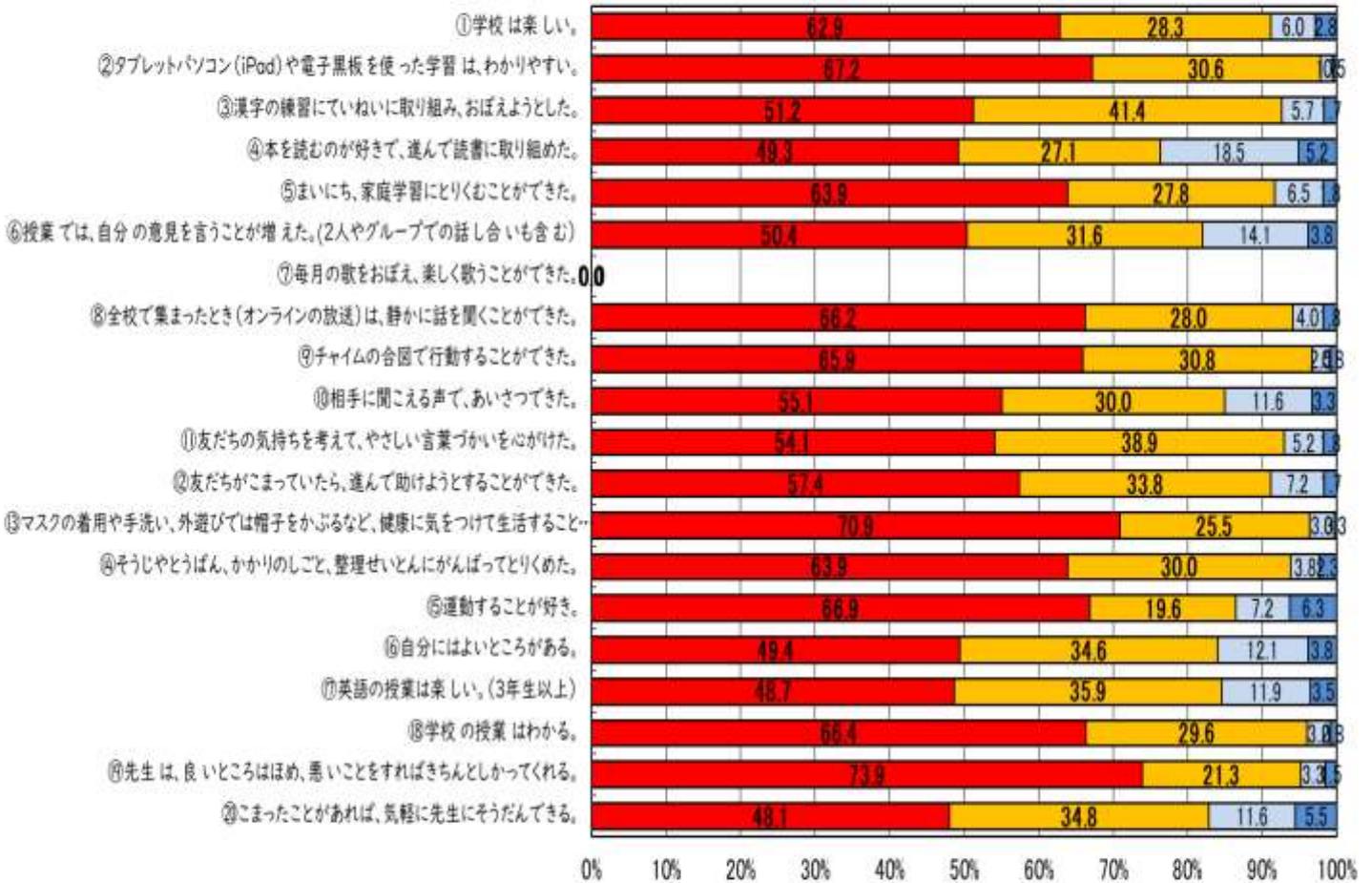


児童・保護者による「学校アンケート」結果について(1)

校長 中村 真理子

2学期の終わりに、学習・生活について全校児童にアンケートを行いました。また、保護者の皆様からも、本校の教育活動についてアンケートにお答えいただき、様々なご意見をいただきました。学校運営協議会(コミュニティー・スクールくさつ)でも、今年度の教育活動について、次年度への示唆をご協議くださいました。今後は、良い点を保護者・地域の皆様と共有して子どもたちの成長につなげるとともに、学校が改善していかなければならない点を明確にし、次年度にいかしてまいります。アンケートへのご協力ありがとうございました。

令和4年度 児童「学校アンケート」集計結果(全児童対象)



■ そう思う

■ だいたいそうだと思う

■ あまり思わない

■ まったく思わない

「児童アンケート」の結果から 〔学習面について〕

評価	項目
◎	②タブレットパソコン(iPad)や電子黒板を使った学習は、わかりやすい。
◎	⑱学校の授業はわかる。
○	⑥授業では自分の意見を言うことが増えた。(2人やグループでの話し合いも含む)
▲	④本を読むのが好きで、進んで読書に取り組めた。



◎タブレットパソコン(iPad)など、ICTを活用した授業の推進に取り組んできた成果が表れ、ICTを使った学習がわかりやすいと97.8%の子どもたちが回答しました。そのことに、学校として手応えを感じています。また、ICTを使った授業を受けることで、「学校の授業はわかる。」と、96%の子どもたちが肯定的に答えています。確かな学力を身につけることを学校教育目標としている本校にとって、授業を何よりも大切にしてきた成果が、子どもたちの力になってきていると感じます。ただし、子どもたちが授業を「わかったつもり」になっているだけにならないように、学力をしっかりと積み上げていくことを大切にしていきます。

▲一方で「本を読むのが好きで、進んで読書に取り組めた」と回答している子どもたちの割合が、すべてのアンケート項目の中で、最も低いことを大きな課題であるととらえています。昨年度も同様の課題が見られていたことから、今年度は、全校「読書の日」を新設するなど新たな取組も始めていますが、まだまだ子どもたちへの浸透が薄いと感じています。子どもたちの読解力をつけるためにも、今年度の読書の取組を振り返り、次年度に向けて新たな解決策を進めていきます。

〔生活面について〕

評価	項目
◎	⑨チャイムの合図で行動することができた。
◎	⑪友だちの気持ちを考えて、やさしい言葉づかいを心がけた。
◎	⑬マスクの着用や手洗い、外遊びでは帽子をかぶるなど、健康に気をつけて生活することができた。
○	①学校は楽しい。
○	⑯自分にはよいところがある。



◎生活面のアンケートの結果は、上表以外のどの項目も、おおむね良好な状況であると、とらえています。特に、「自分にはよいところがある。」の項目は、昨年度と比較して、5.6%も向上しました。これまで課題となっていた自尊感情や自己肯定感の項目が大幅に改善したことは、今年度の取組の成果です。

○毎日気持ちよく過ごせるよう、学校全体で共通の実践を積み重ねたことで、生活面に関わる項目の肯定的な回答の割合が、すべて85%を超えるようになりました。

▲一方で、「学校は楽しい。」の項目で、今回肯定的な回答をしていない子どもたちにも目を向け、今後も、すべての子どもにとって「楽しい学校」を目指すとともに、一人ひとりの自己肯定感を育てるために温かな雰囲気的大事にし、子どものよさを積極的にほめていくようにします。

〔教員との関係について〕

評価	項目
◎	⑲先生は良いところはほめ、悪いことをすればきちんとしかってくれる。
○	⑳困ったことがあれば、気軽に先生に相談できる。



◎⑲の項目については、肯定的回答をした子どもが95%を超えています。子どもたちが、教員に対して信頼してくれていると感じます。子どもと教員との良い関係を今後も築き続けていきます。

○一方で、困ったことがあれば、担任の先生以外にも相談できるように、多くの先生と触れ合える仕組みを、さらに整えます。学校全体で、一人ひとりの子どもを理解し、寄り添う指導ができるよう、子どもに向き合う時間を確保するための働き方改革や、楽しい授業・わかる授業づくりに努めています。加えて、子どもたちの心をつかむための教育相談に関する研修の充実も図っていきます。

【草津小HPに、子どもたちの活動等を毎日更新中。「配付物」等も順次掲載しています。ぜひアクセスを!】